

神戸大学武田学長へ絵画、写真パネル、山と人20号の贈呈

6月1日（水）居谷会長、山田副会長、河端山岳部長の3人が神戸大学の武田廣学長を訪問し、クーラカンリの絵画、バダリの写真パネル及びバダリ、タリ峰の報告書山と人20号を手渡しました。

この贈呈のきっかけは以前、武田学長が「学長室に神戸大学が初登頂した山の写真がない」とおっしゃられたことから、このたび山と人20号の発刊に合わせて、絵画と写真パネルも贈呈することにしました。

絵画は、今年クーラカンリ登頂30周年ということ、またACKUが初登頂した山の代表ということで、山田副会長が描いた氷河湖からのクーラカンリ（題名「空へ」油彩P20号）を贈呈しました。また、写真パネルは、パタ谷右岸の尾根上5500mから撮影したバダリ峰、タリ峰の遠望写真で登山ルートが一目でわかる写真を使いました。

贈呈には、武田学長をはじめ、藤井副学長（課外活動担当）、内田副学長（広報担当）、水島秘書室長が立ち合わせました。武田学長からは、「山岳会には神戸大学のPRを新聞やテレビを通じてしていただき大変感謝しています。いただいた絵画と写真パネルは飾らしていただいて、おおいに目を楽ませさせていただきます。」と感謝の言葉をいただきました。

その後、山と人20号をお世話になった方々（学務部、学生支援課、百年記念館大学文書資料室、凌霜会、KTC、くさの会など）にお届けしました。



絵画の贈呈



写真パネルと山と人20号の贈呈



学長室に飾られたクーラカンリの絵画
絵画の下の説明文は以下のとおりです

贈呈 神戸大学様

「 空 へ 」

神戸大学山岳会

1986年3月21日、神戸大学チベット学術登山隊は、当時世界第2位の未踏峰クーラカンリ（標高7554m）を目指し、西氷河末端の凍結した氷河湖（5260m）から登山を開始した。早朝、氷河堆石の上に立つと、抜けるように青い空高く、頂上と登山ルート予定の西稜が望めた。その日からちょうど一か月後の4月21日16時15分（北京時間）登山隊は人類で初めてクーラカンリの頂に立った。



大学本部 4階廊下に飾られた写真パネル



野邑理恵子百年記念館大学文書資料室長へ山と人、ACKUnews 贈呈